

NPO法人ふくてっく 第20回総会議案書

I号議案 令和2年度活動報告

理事長総括

(小川理事長)

前年度の総会で、ふくてっくの活動がコロナ禍の影響により減少している事を報告しました。あれから一年、コロナ禍を乗り越え、以前の様な世の中が戻っていると信じていましたが、現実には厳しい状態です。

ふくてっくとしては、毎月の定例会の開催が難しく、未だ学習会の予定もたたず、会員の交流の場が減っている事を少し残念に思っています。

各部活動に関してもコロナの影響はまだ大きく市民参加活動がメインの「つどい」の活動は先が見通せない状態です。「東大阪部会」「こむねっと部会」は多少の制限、影響はあるものの感染対策を施して活動することが出来ています。ただ今後の感染状況によっては、令和3年度の部活動もこの様な状況が続くことが予測されます。ふくてっく活動は会員にとって元気の源ですから、大切な事ですが、何より会員のみなさんの健康が一番ですから無理はせず、一歩ずつ復活を目指したいと思います。

世の中、まだまだコロナの影響を受けている人、収束に向けて頑張っている人がたくさんいる事を忘れることなく、こんな状況でも対策をして活動が出来ることに「感謝」して令和3年度を何とか乗り越えたいと思います。

事務局報告

(中北事務局長)

◆定例会記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
R2.7.4	防災マルチライト	㈱サンエー 鈴木直喜氏	・会誌98号発刊しました
R2.8.1	第19回定期総会開催		・8/1午前中に理事会開催
R2.9.5	精神疾患患者、当事者の話	鈴木仁美氏	
R2.10.3	学習会無し (新型コロナウイルスにより)		・10/18会員交流会を鶴見緑地で開催
R2.11.7	学習会無し (新型コロナウイルスにより)		・11/8大阪府チャレンジ登山大会に有志が参加
R2.12.5	定例会中止 (新型コロナウイルスにより)		
R3.1.9	親睦会(学習会はなし)		・会誌99号発刊しました
R3.2.6	①「きぼうのつばさ 51」視聴 ②「灘中学校」の入試問題から	①パンジーメディアDVD ②池端一義会員	・2/6午前中に理事会開催
R3.3.6	学習会無し (新型コロナウイルスにより)		・3/14カニパーティーを開催
R3.4.3	天王寺区北エリアのお散歩 ～桜と歴史に想いを馳せて	山本尚子会員	
R3.5.1	定例会中止 (新型コロナウイルスにより)		
R3.6.5	定例会中止 (新型コロナウイルスにより)		

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第19回 定期総会 R2.8.1 13:36~14:50	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室 正会員総数35名 出席26名 (うち委任状出席6名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ R1年度活動報告・同決算 承認 ・ R2年度活動計画・同予算 承認 ・ 監査報告

◆理事会記録

開催内容・日時	場所	議事
理事会 R2.8.1 10:05~12:07	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ R1年度活動、決算報告 ・ R2年度活動、予算計画 ・ 外部連携団体への会員登録見直しについて ・ NPO法人ぱあとなあからの依頼に応ずる活動について ・ コロナ禍の日常化に伴う例会、各部活動の在り方など ・ 会員増強とNPO20年を展望して、今後の展開について ・ 年会費の改定について
理事会 R3.2.6 11:04~12:04	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度上半期の活動報告、下半期の活動展望 ・ R2年度決算見込みと対策、活動費の見直しについて ・ 理事改選について ・ 水野博達氏からの依頼について

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動		令和2年度事業報告 (R2/7/1~R3/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	成果		
I	幼稚園木工教室	11/23 ~ 12/28	子ども達が木に触れ合う機会を作り、工具体験を目的に工作を通じて親子参加の時間を 作る為の活動。
	羽曳野市立高鷲南幼稚園		毎年、幼稚園で賑やかに自然木工作しているが、今年は材料の提供と工具の貸出のみ の関わりとし、体験は幼稚園の先生方が実施する。
	上記幼稚園(羽曳野市)		感染対策を実施し、園児たちは貴重な体験が出来たと報告を受ける。

ふくてっくのつどい (たいけん)		令和2年度事業報告 (R2/7/1~R3/6/30)	
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	成果		
I	材料調達	10/31	自然木の調達
	6名		幼稚園の活動の為の材料調達として作業をする事と、親睦を兼ねる。
	岡さん能勢別荘		(稲住、岡、鎌田、松本隆、松本雄、小川)

ふくてっくのつどい (ものしり)		令和2年度事業報告 (R2/7/1~R3/6/30)	
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	期待する成果		
I	会員交流会	10/18	会員間交流
	12名		コロナ禍の影響で密を避けるため、屋外での交流会を実施。
	鶴見バーベキュー		

ふくてっくのつどい		令和2年度収益費用報告 (R2/7/1~R3/6/30)		
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-I	幼稚園親子木工教室	20,000	5,000	15,000
—	備品購入(電動工具、消耗品等)	0	38,092	△ 38,092
合計		20,000	43,092	△ 23,092

2. 東大阪部会

(清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適正検証事業も15年になります。R2年度から介護保険住宅改修においては、市のスタンスが現場目線から書類優先の対応と大きく舵を取り、今年に入り住宅改修適否の判断から介護予防の視点が薄らいてきました。重度身体障害者住宅改修は、コロナ禍において検証等を自粛する方針が示され、現地に訪問しない書類の認定審査が半数を占めました。当会としては、利用者ファーストの考えを基に適正化検証に関わり今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。検証活動ではコロナ感染防止対策として、担当者の検温・体調チェック、マスク着用、訪問先での消毒等を行い、また、訪問先対象者やご家族・関係者にもマスク着用をお願いしています。東大阪の登録事業者研修会はR2度から委託事業から切離し単独の講師依頼に変わりました。R2年度の研修会はクラスター防止の観点から対面での研修会を実施せず、事業者が研修資料を東大阪市HPよりダウンロードし、質問の回答を市にFAXする方法で実施されました。寝屋川市介護保険住宅改修研修会はクラスター防止の為、中止となりました。今年度は部会はリモートで3回実施しました。活動に必要な備品等の見直しを行い、メンバーの身体的負担を軽減するためにアシスト自転車2台購入しました。シルバー新報（新聞）からの東大阪部会活動等掲載依頼については執筆等には至っておりません。

東大阪部会		令和2年度事業報告 (R2/7/1～R3/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			成果
1	東大阪市重度身体障害者住宅改修費助成制度適正検証事業	R2年 7/1～ R3年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。
	東大阪市		障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。 認定審査/完了審査：R2/7～R3/6 6件/8件 (R2/4～R3/3 10件/8件) 事前相談会：R2/7～R3/6 4件/2日 (H2/4～R3/3 4件/2日)
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	R2年 7/1～ R3年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		高齢者の自立した日常生活を継続し、介護者の負担を軽減する。 検証案件：R2/7～R3/6 単独事前&事後&再調査205件 併用事前&事後3件 (R2/4～R3/3 単独事前&事後&再調査201件 併用事前&事後4件 書類審査14件)
	東大阪市内		
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	R2年 11/中旬	目的：高齢者等の生活の質の向上及び自立を支援する住環境整備のスキルの向上。
	東大阪市		高齢者の安心・安全な暮らしを実現すると共に、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。今年度は、対面研修会は中止。事業者が研修資料を東大阪市HPよりダウンロードし、質問の回答を市にFAXする方法で実施することになり、申請に不備のある申請要件を抽出した資料を作成し納品する。
	東大阪市内		
4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	中止	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。
	寝屋川市		
	寝屋川市立保健福祉センター		
5	大阪市住まいの情報センター・出前講座	R2年 7/1～ R3年 6/30	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」
	市民		
	大阪市内		コロナ禍での対面講座の依頼が無く、実施できていません。

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	定例会(月1回開催)	R2年7月 ~ R3年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討 出席者：★7/18-9名・8/22-9名・☆9/19-10名・10/17中止・11/21-9名 12/19-8名・ ☆1/16-11名・2/20-8名・3/27-5名・4/17-8名・★5/15-10名・★6/19-9名
	検証メンバー	第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する
	大阪市立社会福祉センター・ ☆生玉会館他・★リモート		

R2年度東大阪検証活動 作業担当報告

月	検証活動日	検証記録	改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてっく 定例会	その他 活動予定
	介護住介：木曜 ゴシックは 水曜 改造助成： 第1・3木曜	集積 送信	第3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	発表担当	
6	2.9.16.30	曾我部	7/16	中止	7/9 小川	7/18	山本	曾我部	7/4「正しく知ろう、いろいろと」 曾我部	
7	6.20.27	磯田	8/20	中止	8/27 山本	8/22	川北	磯田	8/1「東大阪市検証活動に関わった経緯」 磯田	東大阪研修会中止
8	3.10.17.24	清水	9/17	中止	9/10 9/24 川北	9/19	山本	清水	9/5「東大阪市「KIX」 &脳トレ」 清水	寝屋川市研修会中止
9	1.8.15.22.29	川北	10/15	中止	10/8 10/22 小川	10/17 中止			10/3「東大阪文化創造館」 川北	
10	5.12.19.26	大塚	11/19	大塚	11/12 11/26 山本	11/21	川北	大塚	11/7「大阪難読地名の由来」 大塚	
11	3.10.17.24	小川	12/17	中止	12/10 12/24 川北	12/19	山本	小川	定例会中止	
1	7.14.21.28.	寺岡	1/21	中止	1/14 1/28 小川	1/16	山本	寺岡	1/9発表なし	
2	4.18.25.	曾我部	2/18	中止	2/25 山本	2/20	川北	後藤	2/6「子どもにお話しを語る勉強中！」 寺岡	
3	4.11.18.25	後藤	3/18	寺岡	3/11 3/25 川北	3/27	山本	磯田	3/6「事例紹介」 鎌田	
4	1.8.15.22.28	鎌田	4/15	中止	4/8 4/22 小川	4/17	川北	鎌田	4/3「事例紹介」 鎌田	
5	6.13.20.27	大塚	5/20	中止	5/13 5/27 山本	5/15	山本	小川	定例会中止	
6	3.10.17.24	山本	6/17	中止	6/10 6/24 川北	6/19	川北	春岡	定例会中止	

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

東大阪部会

令和2年度収益費用報告 (R2/7/1~R3/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度 適正検証事業	174,350	3,533,409	△527,109
			諸謝金 3,039,250	
			印刷製本費 5	
			通信運搬費 2,884	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	2,831,950	消耗品費 32,350	
			旅費交通費 220,895	
			会議費 8,680	
			租税公課 2,600	
			支払手数料 11,495	
			雑費 215,250	
A-3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	30,000	26,000	4,000
			諸謝金 26,000	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	0	0	0
			諸謝金 0	
			旅費交通費 0	
A-5	大阪市住まい情報センター ・出前講座	0	0	0
			諸謝金 0	
			旅費交通費 0	
合計		3,036,300	3,559,409	△ 523,109

諸謝金	3,065,250
旅費交通費	220,895
消耗品費	32,350
印刷製本費	5
通信運搬費	2,884
会議費	8,680
租税公課	2,600
支払手数料	11,495
雑費	215,250

3. こむねっと部会

(中北会員)

◆総括

計画	実績評価
<p>◆福祉サービス第三者評価事業は評価機関認証15年を経てようやく活動として定着してきたが、引き続きさらなる事業拡大を目指します。</p> <p>◆りすくのっくその他事業については、コロナ禍の影響もあって、残念ながら停滞しているが、コロナ禍の状況改善を待って、活性化を図りたい。</p>	<p>◆福祉サービス第三者評価事業については、コロナ禍の中、1件が受審時期を1年先送りするなどの影響を受けたが、社会的養護関係施設8件、障がい福祉施設1件の計9件の評価をまとめました。</p> <p>これは前年の11件に引けを取りません。</p> <p>そのほかハートフル大東では、理事長以下中核職員に対して、第三者評価基礎研修を実施（3回）しました。</p> <p>評価メンバーも増員しつつ、体制の充実を図ることができました。</p> <p>また、新たに兵庫県からも評価機関認証を受け、活動エリアを拡張しています。</p> <p>中北は、引き続き大阪府第三者評価推進機構の基準等部会委員を努めるほか、評価機関連絡会代表幹事の任にあつて、大阪府の評価調査者養成研修講師を務める等、第三者評価事業の推進に取り組んできました。</p> <p>◆りすくのっく事業およびBCP研究会、その他外部連携活動については、コロナ禍が長期化し、残念ながら進展は認められません。</p>

こむねっと部会

令和2年度事業報告 (R2/7/1~R3/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No.	事業名		日付期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主	場所		
				成果
1-1	福祉サービス第三者評価	大阪府・評価機関	通年	<p>大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会</p> <p>令和2年度も地域福祉審議会の開催はなかったが、第三者評価基準等部会は府の担当職員が各委員との個別協議により評価基準の改訂を審議して国ガイドラインに沿った改定を実施することができました。</p> <p>大阪府の認証評価機関は1減・2増して、19機関となっています。(うち16機関が連絡会参加している。)</p> <p>認証登録No.3のふくてっくが、最古参評価機関となりました。(同期登録はNo.6カローとNo.12ナルクのみ。最新参加機関はNo.58。じつに39機関が消滅している。)</p>
	大阪府庁ほか			
1-2	福祉サービス第三者評価		通年	<p>第三者評価活動</p> <p>令和2年度は、すでに9件の評価を完了。その上で令和3年度の取組となる件を多数受注し、その一部について既に取組を進めています。</p> <p>大阪府認証評価機関リストの一番手に記載された効果か、問い合わせが多く、スケジュールが合わず数件の依頼を断っている状況です。</p>
	福祉事業所	大阪府・兵庫県・奈良県		
2	SCP研究会		通年	<p>サービス・コンティニューイティ・プランニング事業</p> <p>残念ながら、評価できる活動は確認できません。</p>
	BCP研究会参加団体	大阪府内		
3	りすくのっく		通年	<p>障害者居宅の防災支援活動</p> <p>残念ながら、評価できる活動は確認できません。</p>
	ゆめ風基金	大阪府下		

4	外部連携	直ちに具体的なプロジェクトを企図するものではないが、諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する
	ボラ協 NPOゆめ風基金 NPOセンター NPOちゅうぶ NPOばあとなあ (社福) 草野の根共生会 (社福) ひまわり園 (社福) 奈良県手をつなぐ育成会 (一社) 奈良市手をつなぐ親の会・奈良美鹿の会 大阪精神医療人権センター BCP研究会 NPO第三蓮 NPO福医建 JIA福祉部会	【ボラ協】 研修会等の企画に随時参加してきたが、年度後半はコロナ禍の影響による行事中止が多くなったが、ネットやメール等によりメンバー間の情報共有は図られています。 【大阪NPOセンター】 ふくてっくは、会員登録を抹消し、退会しました。 【その他団体】 ちゅうぶ、ばあとなあの2団体とは中北が監事、運営委員として関係しつつ、こむねっととの協働課題を視野に入れ、障害福祉分野とのネットワークの深化を図っています。当事者中心の団体として連携の意義はとても高いものがあります。障がい者権利運動団体においても、変化の波が及び、職員像や組織の在り方について深刻な課題が発生しています。また、福祉制度の網に漏れる社会課題が随所に顕在化しており、各団体も対応に苦慮しています。そのよう中に、私たちのような市民活動に課せられる新たなミッションを肌で感じることができています。 【大阪府精神医療人権センター】 大阪が、他府県に先駆けて取り組む活動であり、精神医療現場における人権侵害の防止と療養環境の改善に取り組んでいます。大阪の取組が評価され、他府県にも波及する動きが増えてきました。中北は、その中で訪問活動メンバーとして活動して、上記2つのミッションに取り組んでいます。加えて、退院後の自立生活支援をテーマに加えるべきだと考えています。

こむねっと部会		令和2年度事業報告 (R2/7/1~R3/6/30)	
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	成果		
1	7月部会 10名 大阪市立社会福祉センター ※広い第4会議室確保	7/18 (土)	報告) 受注案件の進行状況。 第三者評価施策の動向。 他評価機関の動静。 議題1) 天王谷学園および武田塾のアンケート分析および自己評価の検討 議題2) 新規に取り組む①乳児院、②児童心理治療施設、③母子生活支援施設の評価課題検討 議題3) 弘濟みらい園(児童養護施設)と弘濟のぞみ園(児童心理治療施設)の同時評価について
	8月部会 12名 大阪市立社会福祉センター		8/22 (土)
3	9月部会 8名 大阪市立社会福祉センター	9/19 (土)	議題1) 館田塾訪問調査の振り返り 議題2) 天王谷学園訪問調査について 心理ケアに関する問題提起など 議題3) 和泉乳児院訪問調査について 議題4) 弘濟みらい園・きぼう園のヒアリングスケジュールについて
	10月部会 6名 大阪市立社会福祉センター		10/17 (土)
6	11月部会 6名 大阪市立社会福祉センター	11/21 (土)	報告) 阿武山学園(児童自立支援施設)受審に関して 議題1) 訪問調査の振り返り 1. 弘濟みらい園・のぞみ園 2. 助松寮 議題2) 評価結果報告に向けて 1. 天王谷学園 2. 和泉乳児院 議題3) 進行中案件について
	12月部会 12名 大阪市立社会福祉センター		12/19 (土)

8	1月部会	1/16 (土)	議題1) 助松寮 評価結果の内容確認
	11名 大阪市立社会福祉センター		議題2) 弘済みらい園・のぞみ園 評価結果の最終チェック 議題3) 南さくら園 評価結果の最終チェック 議題4) 今後の第三者評価取組にむけて ①訪問後の評価検討相互通信ルール ②ドロップボックス活用その他
9	2月部会	2/20 (土)	報告) 各施設 評価結果報告会の反応 兵庫県・奈良県の第三者評価事業
	8名 大阪市立社会福祉センター		議題1) 阿武山学園 第三者評価活動について 議題2) らくじ会グループの第三者評価について 議題3) 令和2-3年度の活動費特別増額支給について 議題4) 最新の評価基準確認 議題5) ばあとなあからの相談案件 (障がい者の地域生活支援)
10	3月部会	3/27 (土)	報告) ・ 評価結果 ①阿武山学園 ②フライングポニー ・ 今後の受審見込み ・ ばあとなあからの相談案件、その後
	7名 大阪市立社会福祉センター		議題1) らくじ会 第三者評価活動について 議題2) 令和2年度の評価活動をふりかえって
11	4月部会	4/17 (土)	報告) その後の第三者評価、問い合わせ経緯
	9名 大阪市立社会福祉センター		議題1) 各種高齢福祉サービスの評価活動に関する学習会 ・居t介護支援 ・デイサービス ・小規模多機能 ・特養 ・ショートステイ ・ケアハウス ・有料老人ホーム ・グループホーム
5月部会・6月部会			休会

こむねっと部会		令和2年度収益費用報告 (R2/7/1~R3/6/30)		
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
B-1- 1~12	こむねっと部会 共通経費	①会議費	8,080	△ 28,890
		②諸会費	13,000	
		③支払い手数料	7,810	
A1	第三者評価事業	事業収入	4,191,000	△ 1,123,691
		諸謝金	4,366,428	
		印刷製本費	342,000	
		旅費交通費	167,210	
		車両費	69,500	
		通信運搬費	2,675	
		消耗品費	0	
		新聞図書費	0	
		租税公課	4,000	
		研修費	98,500	
		雑費	264,378	
	(小計)	4,191,000	5,314,691	
A2	地域資源の利活用による障がい者地域生活拠点構想	0	0	0
A2	SCP事業	0	0	0
A3	りすくのっく	0	0	0
A4	外部連携	0	0	0
合計		4,191,000	5,343,581	△ 1,152,581

-27.5%

こむねっと部会の期首収支計画では、第三者評価事業で365万円、の収入を見込んでいましたが、決算ではこれを若干上回る約420万円の収益となりました。この中には次年度にまたがる取組となる、らくじ会グループの契約額から110万円を今期の収益として計上しています。(これに見合う経費も計上)

今年度の特例として活動費配分を規定の30%増しとしたために、決算は大きな赤字となりました。

令和2年7月1日から令和3年6月30日まで

活動計算書

(単位：円)

科目	決算金額			期首予算額	前年決算額
I 経常収益					
1. 受取会費					
正会員受取会費	155,000			180,000	365,000
通信会員受取会費	2,500			2,000	2,000
学生会員受取会費	1,000			-	1,500
例会参加受取会費	-			1,500	-
受取会費計		158,500		183,500	368,500
2. 受取寄附金					
受取寄附金	200,000			-	-
受取寄附金計		200,000		-	-
3. 受取助成金等					
持続化給付金	2,000,000			2,000,000	
大阪府休業要請外支援金	500,000			500,000	-
受取寄附金計		2,500,000		2,500,000	-
4. 事業収益					
ふくてっくのつどい	20,000			110,000	50,000
東大阪部会	3,036,300			3,618,000	3,432,470
こむねっと部会	4,191,000			3,707,000	3,896,150
事業収益計		7,247,300		7,435,000	7,378,620
5. その他収益					
受取利息	87			70	66
雑収益	8			-	2,277
その他収益計		95		70	2,343
経常収益計			10,105,895	10,118,570	7,749,463
II 経常費用					
1. 事業費					
(人件費)					
給料、手当(事業)	3,000			150,000	34,000
人件費計		3,000		150,000	34,000
(その他経費)					
材料費	-			10,000	4,470
業務委託費	-			-	-
諸謝金	7,431,678			5,100,000	4,889,322
印刷製本費(事業)	342,005			500,000	495,969
会議費(事業)	16,760			35,000	29,400
旅費交通費(事業)	390,105			600,000	527,269
車両費	69,500			-	-
通信運搬費(事業)	5,559			20,000	15,674
消耗品費(事業)	32,350			80,000	63,900
諸会費	13,000			20,000	-
租税公課(事業)	6,600			6,000	3,000
研修費	98,500			70,000	32,500
支払手数料(事業)	19,305			22,000	21,441
雑費	517,720			-	220,322
その他経費計		8,943,082		6,463,000	6,303,267
事業費計		8,946,082		6,613,000	6,337,267

2. 管理費					
(人件費)					
給与 手当	147,000			182,000	181,600
通勤費	34,980			32,000	32,000
人件費計		181,980		214,000	213,600
(その他経費)					
諸謝金	11,137			45,000	22,274
印刷製本費	250			2,000	255
会議費	54,480			75,000	55,200
旅費交通費	-			20,000	16,780
通信運搬費	71,218			85,000	82,521
消耗品費	15,460			10,000	1,486
地代家賃	419,892			420,000	418,620
接待交際費	-			-	-
新聞図書費	1,200			-	-
減価償却費	-			-	-
保険料	36,000			30,000	29,440
諸会費	-			45,000	44,600
慶弔費	-			-	-
租税公課	70,012			70,000	70,008
支払手数料	30,770			32,000	31,298
事務用品費	-			80,000	-
雑費	6,538			20,000	131,430
その他経費計		716,957		934,000	903,912
管理費計		898,937		1,148,000	1,117,512
経常費用計			9,845,019	7,761,000	7,454,779
当期経常増減額			260,876	2,357,570	294,684
Ⅲ 経常外収益					
経常外収益計			-	-	-
Ⅳ 経常外費用					
経常外費用計			-	-	-
税引前当期正味財産増減額					
当期正味財産増減額			260,876	2,357,570	294,684
前期繰越正味財産額			7,302,061	6,825,444	6,530,760
次期繰越正味財産額			7,562,937	9,183,014	6,825,444

令和2年度は、コロナ禍に伴う、持続化給付金等が得られるとして、大きな増益が見込まれました。このため、これまで会員の活動費を低額に押さえて会の財政を支えてきた経緯を鑑み、正会員の年会費を半額にするとともに、活動経費の支弁を正当な水準に近づけるよう増額配分することによって、大きな収支差額の発生を抑制することができました。ほぼ、例年どおりの正味財産増額となっています。

貸借対照表

令和3年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,434,023		
流動資産合計		7,434,023	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,571,437
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	-		
預り金	8,500		
流動負債合計		8,500	
負債の部合計			8,500
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,302,061	
当期正味財産増減額		260,876	
正味財産の部合計			7,562,937
負債・正味財産の部合計			7,571,437

財産目録

令和3年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	92,156		
三菱UFJ銀行梅田支店	6,241,967		
ゆうちょ銀行	952,510		
郵便振替口座	147,390		
流動資産合計		7,434,023	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,571,437
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	8,500		
流動負債合計		8,500	
負債の部合計			8,500
正味財産			7,562,937

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によつてい
ます。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

	ふくてっくの つどい	東大阪 部会	こむねっと 部会	事業部門 合計	管理部門 合計	合 計
I 経常収益						
1. 受取会費				-	158,500	158,500
2. 受取寄付金				-	200,000	200,000
3. 受取助成金等				-	2,500,000	2,500,000
4. 事業収益	20,000	3,036,300	4,191,000	7,247,300		7,247,300
5. その他収益				-	95	95
経常収益計	20,000	3,036,300	4,191,000	7,247,300	2,858,595	10,105,895
II 経常費用						
1. 人件費				-		
給与・手当	3,000			3,000	147,000	150,000
通勤費				-	34,980	34,980
（人件費計）	3,000	-	-	3,000	181,980	184,980
2. その他費用						
材料費	-			-		-
業務委託費				-		-
諸謝金		3,065,250	4,366,428	7,431,678	11,137	7,442,815
印刷製本費		5	342,000	342,005	250	342,255
会議費		8,680	8,080	16,760	54,480	71,240
旅費交通費	2,000	220,895	167,210	390,105		390,105
車両費			69,500	69,500		69,500
通信運搬費		2,884	2,675	5,559	71,218	76,777
消耗品費		32,350		32,350	15,460	47,810
諸会費			13,000	13,000		13,000
地代家賃				-	419,892	419,892
新聞図書費				-	1,200	1,200
保険料				-	36,000	36,000
租税公課		2,600	4,000	6,600	70,012	76,612
研修費			98,500	98,500		98,500
支払手数料		11,495	7,810	19,305	30,770	50,075
雑費	38,092	215,250	264,378	517,720	6,538	524,258
（その他経費計）	40,092	3,559,409	5,343,581	8,943,082	716,957	9,660,039
経常費用計	43,092	3,559,409	5,343,581	8,946,082	898,937	9,845,019
当期経常増減額	-23,092	-523,109	-1,152,581	-1,698,782	1,959,658	260,876

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,588	2
合計	427,590	0	0	427,588	2

パソコン1台 プロジェクター1台

4号議案 令和3年度活動計画

1. ふくてっくのつどい (ものづくり)

(小川会員)

ものづくり活動		令和3年度事業計画 (R3/7/1~R4/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)					
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果		
1	池島ふれあいまつり	11月予定	感染対策をして実施予定(地域のまつり活性化貢献活動)。		
	社会福祉法人海の子の家		地域交流として活動を継続しており、毎年工作機会を期待している市民との交流活動。		
	池島公園				
2	幼稚園木工教室	12月予定	感染対策をして実施予定(ものづくり体験活動)。		
	羽曳野市立高鷲南幼稚園		人生初体験! 工具を使って切ったり打ったり貴重なワクワク、ドキドキ体験活動。		
	上記幼稚園(羽曳野市)				
3	院内学級木工授業	未定	院内へのボランティア受入れ検討中(院内学級での工作授業活動)。		
	あそぼっくる		変化の少ない入院生活に少しの刺激と創意工夫の時間創出活動。		
	大阪市立総合医療センター				
4	てんかん啓発パ-プ-ルDAY	3月予定	感染対策をして実施予定(「てんかん」の周知活動)。		
	読売		「てんかん」という病気を知ってもらう、無知による差別を無くす為の啓発活動への貢献活動。		
	長居植物園				
5	共生・共走リ-マラソン	5月予定	感染対策をして実施予定(障がい者・児とのふれあい活動)。		
	マツカ		障がい児・者がスポーツを通して交流する場に参加し、目田不工を通しての交流活動。		
	花博鶴見緑地公園		そして「つどい」年度最後の活動の締めくくりとしての活動。		
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)					
ふくてっくのつどい(たいけん)		令和3年度事業計画 (R3/7/1~R4/6/30)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果		
1	里山材料調達	3回/年	木工活動の材料調達		
	生駒いいもり山&岡別荘		丸太輪切りや枝の収集など自然の恩恵を授かる。		
ふくてっくのつどい(ものしり)		令和3年度事業計画 (R3/7/1~R4/6/30)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果		
1	バーベキュー&交流会	10月予定	会員間交流		
	10名参加予定		ふくてっく会員の慰労企画。		
	屋外公園				
2	カニご賞味会&交流会	3月予定	会員間交流		
	10名参加予定		ふくてっく会員の慰労企画。		
	岡邸				
ものづくり活動		令和3年度収益予算計画 (R3/7/1~R4/6/30)			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
A-1	池島ふれあいまつり	20,000	20,000	0	
A-2	幼稚園木工教室	20,000	15,000	5,000	
A-3	院内学級木工授業	5,000	10,000	△ 5,000	
A-4	てんかん啓発パ-プ-ルDAY	20,000	20,000	0	
A-5	共生・共走リ-マラソン	5,000	15,000	△ 10,000	
合計		70,000	80,000	△ 10,000	

2. 東大阪部会

(清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適正検証事業も15年になります。R3年4月から東大阪市の介護給付課は窓口業務を派遣社員が行い、介護保険住宅改修担当職員は奥で業務を行う体制に変わりました。蔓延防止・緊急事態宣言下では、介護給付課は緊急性の高い案件のみ検証を実施、重度身体障害者住宅改修は検証等を自粛すると、足並みが揃わない方針が示されました。当会としては、利用者ファーストの考えを基に適正化検証に関わり今年度も継続して事業を展開していきませんが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。検証活動ではコロナ感染防止対策を引続き継続し、担当者の検温・体調チェック、マスク着用、訪問先での消毒等を行い、また、訪問先対象者やご家族・関係者にもマスク着用をお願いしています。東大阪の登録事業者研修会は11月に実施予定ですが、9月のコロナ感染状態によっては、昨年と同じく対面研修会は中止になる可能性があります。寝屋川市介護保険住宅改修研修会は9月に実施予定です。大阪市住まい情報センター出前講座は要請があれば実施します。シルバー新報（新聞）からの東大阪部会活動等掲載の執筆は保留としていますが、コロナが落ち着いた時に時期を見て進めて行く予定です。

東大阪部会		令和3年度事業計画 (R3/7/1～R4/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日 期 間	事業目的・内容等
	期待する成果		
1	東大阪市重度身体障害者住宅改修費助成制度適正検証事業 東大阪市 東大阪市内	R3年 7/1～ R4年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。 障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。 R2/4～R3/3契約：検証22案件、事前相談会12回、書類審査9回
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業 東大阪市 東大阪市内	R3年 7/1～ R4年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。 高齢者の自立した日常生活を継続し、介護者の負担を軽減する。 R2/4～R3/3契約：検証285案件
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会 東大阪市 東大阪市内	R3年 11/10 11/16	目的：高齢者等の生活の質の向上及び自立を支援する住環境整備のスキルの向上。 高齢者の安心・安全な暮らしを実現すると共に、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。 ■施工業者登録説明会及び研修会
4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業 寝屋川市 寝屋川市立保健福祉センター	R3年 9/6	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。 施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。 ■給付券方式施工登録事業所研修会 ①10:00～11:00 ②11:30～12:30 ③13:30～14:30 ④15:00～16:00 講師：鎌田・清水
5	大阪市住まいの情報センター・出前講座 市民 大阪市内	R3年7月 ～ R4年6月	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。
6	環境新聞社/シルバー新報 福祉関係者 全国	保留	目的：介護保険制度創設から20年、住宅改修は他のサービスに比べてまだまだ有効に利用されていない現状があり、介護支援専門員等に住宅改修が在宅介護や自立支援に有効である事を伝える。 介護支援専門員等が、ケアプランの一環として住宅改修に積極的に関わり、対象者の自立支援や家族等の在宅介護負担軽減につなげる。

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	定例会(月1回開催)	R3年7月 ～ R4年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー	第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する
	大阪市立社会福祉センター・ ATCふくてっく事務局他		

R2年度東大阪検証活動 作業担当予定

月	検証 活動日	検証 記録	改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてっく 定例会	その他 活動予定 および備考
	介護住介： 木曜 ゴシックは 水曜 改造助成： 第1・3木曜	集積 送信	第3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	発表担当	
7	1.8.15.21	小川	7/15	中止	7/8 7/21 小川	7/17	山本	大塚	R3/7/3 小川	
8	5.12.19.26	清水	8/19	清水	8/12 8/26 山本	8/21	川北	清水	8/7 清水	
9	2.9.16.22.30	磯田	9/16	磯田	9/9 9/22 川北	9/18	山本	磯田	9/4 磯田	
10	7.14.21.28	春岡	10/21	春岡	10/14 10/28 小川	10/16	川北	山本	10/2 春岡	
11	4.11.18.25	曾我部	11/18	曾我部	11/11 11/25 山本	11/20	山本	曾我部	11/6 曾我部	
12	2.9.16.23	寺岡	12/16	寺岡	12/9 12/23 川北	12/18	川北	寺岡	12/4 寺岡	
1	6.13.20.27	川北	1/20	川北	1/13 1/27 小川	1/15	山本	川北	1/8発表なし	
2	3.10.17.24	大塚	2/17	山本	2/10 2/24 山本	2/19	川北	鎌田	R4/2/5 川北	
3	3.10.17.24.31	後藤	3/17	後藤	3/10 3/24 川北	3/19	山本	後藤	3/5 後藤	
4	未定									
5	未定									
6	未定									

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

東大阪部会

令和3年度予算計画 (R3/7/1~R4/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度 適正検証事業	150,000	2,700,000	300,000
			諸謝金 2,200,000	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	2,850,000	消耗品費 60,000	
			旅費交通費 280,000	
			会議費 15,000	
			租税公課 3,000	
			支払手数料 12,000	
A-3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	60,000	60,000	0
			諸謝金 56,000	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	104,000	4,000
			諸謝金 96,000	
A-5	大阪市住まい情報センター ・出前講座	0	0	△60000
			諸謝金 50,000	
A-6	環境新聞社/シルバー新報	100,000	100,000	0
			諸謝金 100,000	
合計		3,268,000	3,024,000	244,000
			諸謝金 2,502,000	7.5% %
			旅費交通費 302,000	
			消耗品費 60,000	
			印刷製本費 8,000	
			通信運搬費 5,000	
			会議費 15,000	
			租税公課 3,000	
			支払手数料 12,000	

3. こむねっと部会

令和3年度事業計画 (R3/7/1～R4/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1-1	第三者評価 ①	R3年 7月～ R4年 6月	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会・同基準等部会 評価機関連絡会
	大阪府推進審議会 大阪府福祉事業財団 評価機関連絡会 第三連		大阪府地域福祉審議会開催が途絶えて数年になるが、今後も変化は見込めません。基準等部会については、国のガイドライン改定を速やかに取り込むことを決めており、今後はリモート会議等による確認が中心になると考えられます。養成研修・継続研修は本年度も大阪府福祉事業団により実施が決まっています。連絡会の代表幹事役は当分継続せざるを得ないようです。新たに、有力な2機関の参入がありました。第三連（第三者評価調査者連絡会）への参加協力を通じて評価機関のネットワークと、評価活動の広域化に寄与してゆきます。
	全国		
1-2	第三者評価 ②	R3年 7月～ R4年 6月	ふくてっく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備と 評価の取り組み		今年度は既に許容限度一杯の受注契約をしており、それらを滞りなく遂行していきます。前期首の計画に、評価活動の効率化や事務局機能をはじめとする役割の分散を掲げましたが、なお道半ばです。既契約案件に取り組む過程で、計画的に取り組んでいきたいところです。兵庫県の取組については、まだ評価調査メンバーや認証範囲に不十分さがあり、1～2年をかけて体制を整えてから本格的に取り組むことにしたいと考えています。また、未開拓の領域として、保育所、放課後児童健全育成事業、救護施設などの取り組みにも着手していきたい。そのために、評価者メンバーの拡充と資質向上が急がれます。
1-3	第三者評価 ③	R3年 7月～ R4年 6月	具体（複数）の評価活動を実施する。
	具体の第三者評価		らくじ会グループ12施設（うち保育所1件）の他、児童養護施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設2件、特養2件、居宅介護支援（訪問含む）2件、一時保護所（1～？件）に取り組んでいきます。そのほか、ハートフル大東において第三者評価研修（3日×3事業所）の実施が決まっており、重点支える会でも次年度の受審を目指した事前研修を行う予定があります。
2	SCP研究会 りすくのつく	R3 7月～ R4年 6月	当面、第三者評価活動に勢力を集中するため、積極的な関与を控えることとなります。
	ゆめ風基金、 ばあていばあてい他 （福祉事業の継続性） 概ね大阪府下		
3	外部連携先の 困窮課題支援	R3 7月～ R4年 6月	NPOちゅうぶ、NPOばとなあ、（社福）ぽぼんがぼん、（一社）奈良県手をつなぐ親の会・美鹿の会、（社福）ハートフル大東・・・、社会福祉をとりまく近年の動向とともに、様々に課題を抱える諸団体からの相談や、支援要請に応えていくなかで、ふくてっくメンバーの活躍の場を誘導するとともに、コミュニティ・ビジネスとしての新しいミッションを開拓していきます。
	大阪を中心とする近畿圏		
4	各種研修会および 自己啓発機会		ふくてっく会員が広く参加できる市民活動と自己開発機会の創出を目指します。
			今年度は、企画・準備期間とし、令和4年7月以降の具体化を目指します。多様な見分とつながりを深めるツアーの計画も。

福祉サービス第三者評価事業は、平成17年6月に大阪府から評価機関認証を受け、既に16年を経過。17年目に入っています。一時は先が危ぶまれた時期もありましたが、いつの間にか大きな芽に育ちつつあります。そもそも、第三者評価は、社会的意義の大きさとともに、まだまだ伸びしろが大きな事業であり、今後も様々な機関の参入が予想されます。当会の独自性を保ちつつ、第三連や評価機関連絡会等の連携を通じて、第三者評価の発展に寄与していきたいと考えています。

B：部会活動			
(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	7月部会	7/17	福祉サービス第三者評価事業
	14名		報告) 第三者評価受審契約の状況 議題1) らくじ苑訪問調査の振り返り 法人の特性を考える。 議題2) 評価スケジュールの調整 議題3) 保育所の評価要点
	大阪市立社会福祉センター		
2	8月部会	8/21	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		研修会「認知症高齢者グループホーム」 ・特養ユニットケアとの違い ・小規模多機能施設との併設ケース
	大阪市立社会福祉センター		
3	9月例会	9/18	福祉サービス第三者評価事業
			研修会「社会的養護」児童養護施設。児童心理治療施設・母子生活支援施設について
	大阪市立社会福祉センター		
4	10月部会	10/16	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		研修会「特別養護老人ホーム」 ・特養の今日的な状況とミッション ・在来型と新型の機能比較
	大阪市立社会福祉センター		
6	11月部会	11/20	福祉サービス第三者評価事業
			研修会「一時保護所」
	大阪市立社会福祉センター		
7	12月部会	12/18	R2年度上半期をふり返る ・第三者評価体制の合理化について ・次年度以降の研修企画
	大阪市立社会福祉センター		
8	1月部会	1/15	未定
	大阪市立社会福祉センター		
9	2月部会	2/19	未定
	未定		
10	3月部会	3/19	未定
	未定		
11	4月部会	4/16	未定
	未定		
12	5月部会	5/21	未定
	未定		
13	6月部会	6/18	R3年度をふり返る
	未定		

毎月の部会の開催意義を高めるため、取組中の第三者評価についてのスケジュール調整や振り返り、課題の検討などは、ドロップボックス内の情報共有に委ね、テーマを設定した研修会を中心に位置づけたいと思います。

こむねっと部会		令和3年度収支計画 (R3/7/1～R4/6/30)			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
A1-I	第三者評価 審議会・連絡会・第三運	0	10,000	△ 10,000	
	福祉サービス 第三者評価 事業実務	らくじ会グループ (前年度の110万円控除)	3,683,900	活動費配分(90%) 3,315,510	368,390
		ハートフル大東研修会)	264,000	活動費配分(120%) 316,800	△ 52,800
		松柏学園	363,000	活動費配分(90%) 326,700	36,300
		あゆみの丘	330,000	活動費配分(90%) 297,000	33,000
		リアン東さくら	330,000	活動費配分(90%) 297,000	33,000
		ファミリーエヒかり	330,000	活動費配分(90%) 297,000	33,000
		ゆとりすと	220,000	活動費配分(90%) 198,000	22,000
		大阪老人ホーム	330,000	活動費配分(90%) 297,000	33,000
		大阪老人ホームうえだ	385,000	活動費配分(90%) 346,500	38,500
		神戸市一時保護所	396,000	活動費配分(90%) 356,400	39,600
		みきケアサポート	385,000	活動費配分(90%) 346,500	38,500
		くおるとケアプランセンター	220,000	活動費配分(90%) 198,000	22,000
		その他(今後追加受注分)	660,000	活動費配分(90%) 594,000	66,000
	以上計	7,896,900		7,186,410	710,490
	研修費		100,000	△ 100,000	
A2	SCP(BCP)・りすくのつく他	0	活動費・諸経費 20,000	△ 20,000	
A3	外部連携先支援活動費 ・ネットワーク構築	0	活動費・諸経費 50,000	△ 50,000	
共通	情報発信・資料印刷経費	0	40,000	△ 40,000	
共通	会議費	0	30,000	△ 30,000	
合計		7,896,900	7,436,410	460,490	

5.8%

R3年度の第三者評価の受審契約状況は、すでに許容限度一杯に達していますが、なお可能性の高い未決案件が2件あります。これを予算化したため、事業収益の総額は780万円を超えるに至りました。活動費配分基準額を受注額の90%に設定(ハートフル大東の研修活動は例外的に120%)としています。

研修費や外部連携経費を積極的に盛り込みました。

5号議案 令和3年度活動予算計画

令和3年7月1日から令和4年6月30日まで
活動計算書

単位：円

科目	金額			前年決算額
I 経常収支				
1. 受取会費				
正会員受取会費	165,000			155,000
通信会員受取会費	2,500			2,500
学生会員受取会費	1,000			1,000
例会参加受取会費	1,500			0
受取会費計		170,000		158,500
2. 事業収益				
ふくてっくのつどい	70,000			20,000
東大阪部会	3,268,000			3,036,300
こむねっと部会	7,896,900			4,191,000
事業収益計		11,234,900		7,247,300
3. その他収益				
受取利息	90			87
雑収益 (事業継続給付・寄付金)				2,700,000
その他収益計		90		95
経常収益計			11,404,990	10,105,895
II 経常費用				
1. 事業費				
(人件費)				
給料、手当 (事業)	60,000			3,000
人件費計		60,000		3,000
(その他経費)				
材料費	20,000			0
業務委託費	0			0
諸謝金	8,900,000			7,431,678
印刷製本費(事業)	400,000			342,005
会議費 (事業)	35,000			16,760
旅費交通費 (事業)	450,000			390,105
通信運搬費 (事業)	10,000			5,559
消耗品費 (事業)	40,000			32,350
諸会費	30,000			
租税公課 (事業)	10,000			6,600
研修費	200,000			98,500
支払手数料 (事業)	22,000			19,305
雑費	30,000			0
その他経費計		10,147,000		8,943,082
事業費計			10,207,000	8,946,082

2. 管理費				
(人件費)				
給与 手当	182,000			147,000
通勤費	35,000			34,980
人件費計		217,000		181,980
(その他経費)				
諸謝金	45,000			11,137
印刷製本費	1,000			250
会議費	65,000			54,480
旅費交通費	20,000			0
通信運搬費	85,000			71,218
消耗品費	20,000			15,460
地代家賃	420,000			419,892
接待交際費	0			0
減価償却費	0			0
保険料	36,000			36,000
諸会費	45,000			0
慶弔費	0			0
租税公課	70,000			70,012
支払手数料	32,000			30,770
事務用品費	80,000			0
雑費	20,000			6,538
その他経費計		939,000		716,957
管理費計			1,156,000	898,937
経常費用計			11,363,000	9,845,019
当期経常増減額			41,990	260,876
Ⅲ 経常外収益				
経常外収益計			0	0
Ⅳ 経常外費用				
経常外費用計			0	0
税引前当期正味財産増減額				
当期正味財産増減額			41,990	260,876
前期繰越正味財産額			7,562,937	7,302,061
次期繰越正味財産額			7,604,927	7,562,937

3部会の事業計画および収支予算書を統合し、管理部門経費については、過年度の傾向を踏襲してまとめています。

議長

小川 忠雄

議事録署名人